

平成 19 年 9 月 28 日

定期検査中の 1 号機タービン建屋高電導度廃液サンプルピットへの  
水の流入について

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

定期検査中の 1 号機において、平成 19 年 9 月 27 日午後 7 時 41 分、タービン建屋地下 1 階（管理区域）にある高電導度廃液\*<sup>1</sup>サンプルピット\*<sup>2</sup>（堰）へ水が流入したことを示す警報が発生したため、当直員が現場を調査したところ、サンプルピット内に水が溜まっていることを確認しました。

溜まった水の量は、約 1,200 リットルで、放射能は検出されませんでした。

水はサンプルピット内にあり、ピットの外には出ていないことを確認し、本日、仮設ポンプを使って回収を行い、サンプルピット内の清掃を実施することとしております。

今回の事象は、定期検査の準備作業において、配管内の水抜きを行っていたところ、サンプルタンク\*<sup>2</sup>内に排水していた水の量が多かったため、サンプルピット側に流れ出たものと推定しておりますが、今後、原因について詳細に調査します。

なお、これによる外部への放射能の影響はありませんでした。

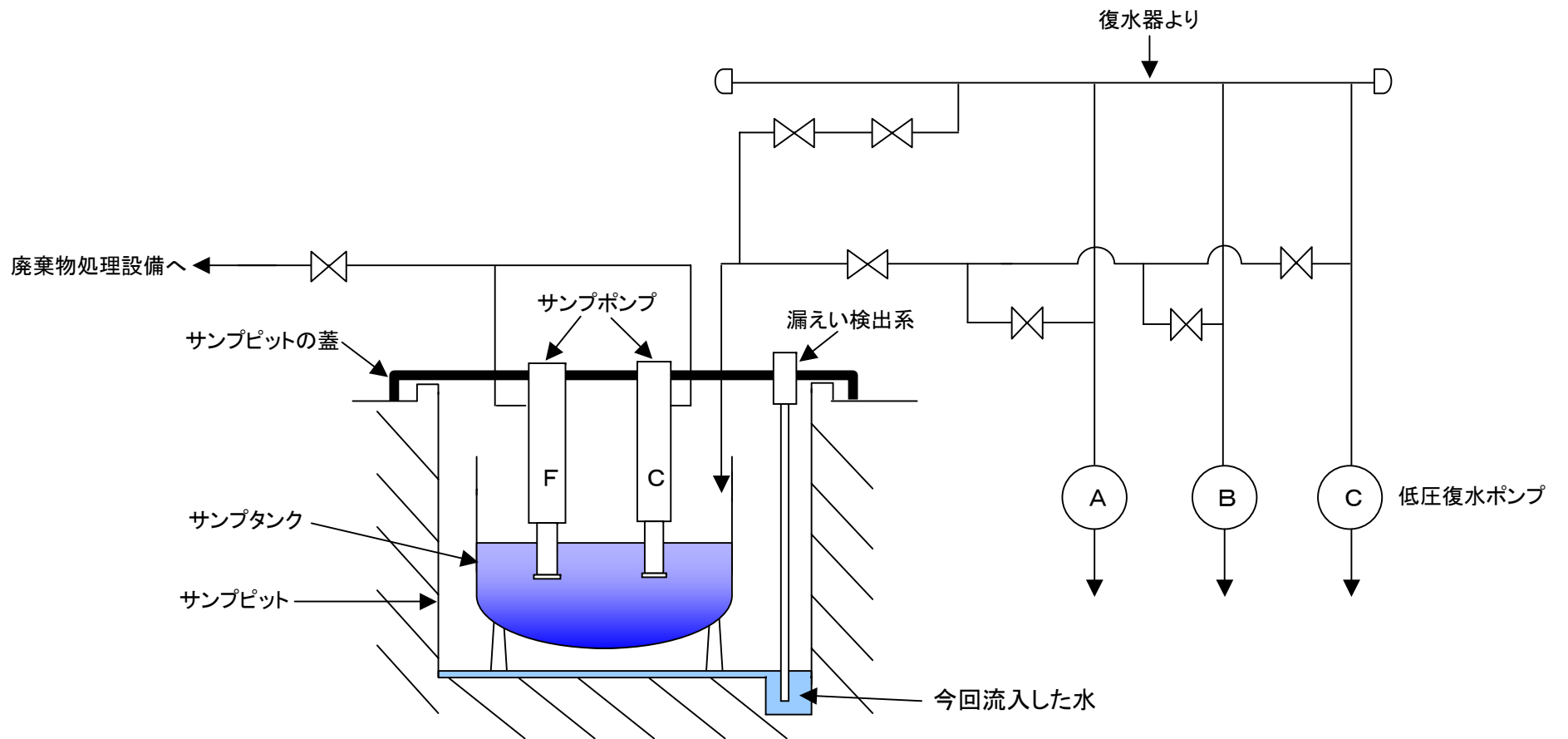
以 上

\* 1 : 高電導度廃液

各建屋内の機器、配管および床に漏れた水（床排水）やプラント内の水質分析時の排水。

\* 2 : サンプルタンク、サンプルピット

サンプルタンクは、各建屋の機器からの排水等を受けるタンクであり、サンプルピットは、サンプルタンクより溢れた水を受けるためにサンプルタンク廻りに設置された堰。



タービン建屋高電導度廃液サンプ 概略図